

週間漁海況情報 2023年第42号

令和5年10月17日発行

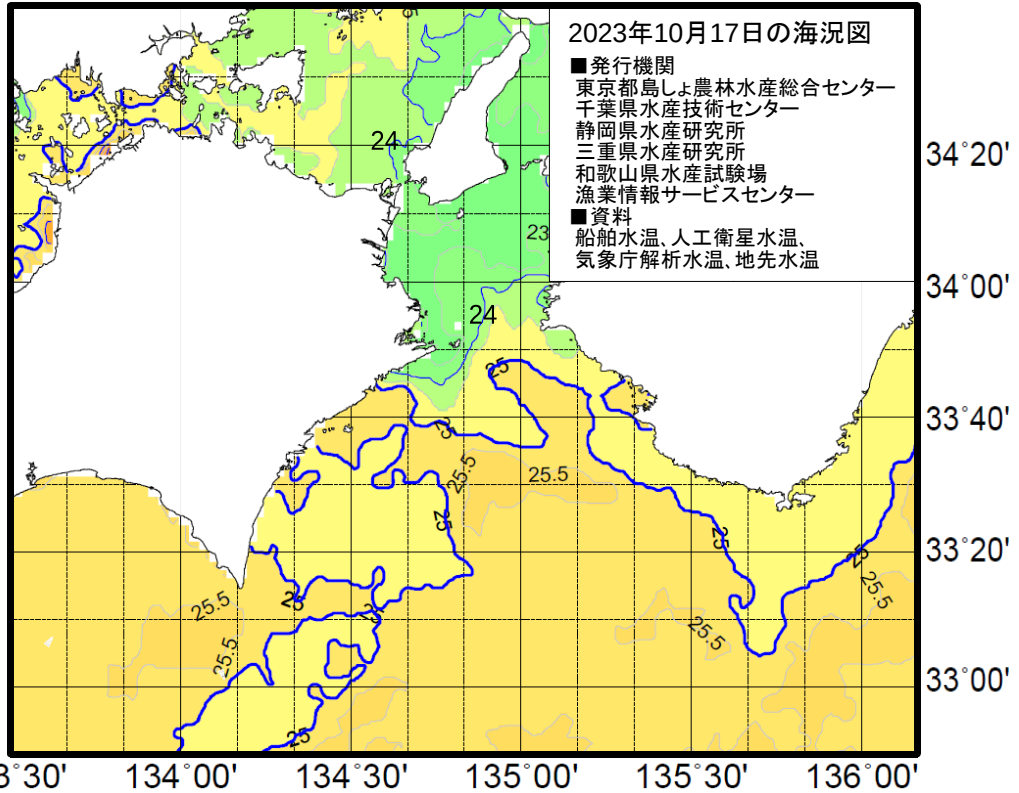
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖76マイル付近、潮岬沖109マイル付近を流れ、いずれも「著しく離岸」している。黒潮は四国沖では離岸が続いている。しかし今後、短期的には近づいたり離れたりと変化するものと予測されている。

黒潮の表面水温は26～27℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は23～24℃、紀伊水道は23℃、海部沿岸は23～25℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖	接岸: ~25NM	やや離岸: 25~45NM	離岸: 45~65NM	著しく離岸: 65NM~
潮岬沖	接岸: ~26NM	やや離岸: 26~56NM	離岸: 56~86NM	著しく離岸: 86NM~

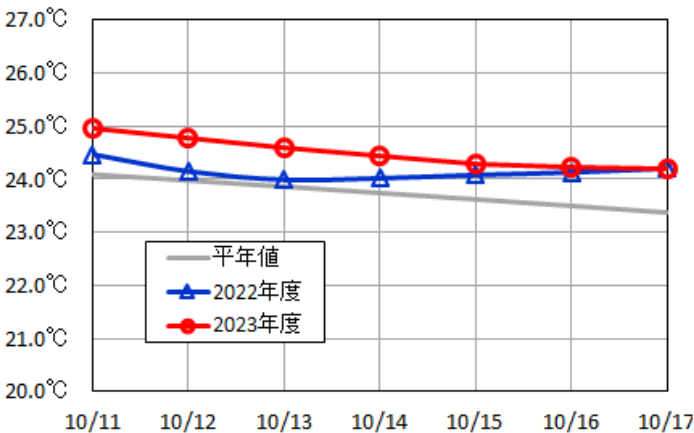
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

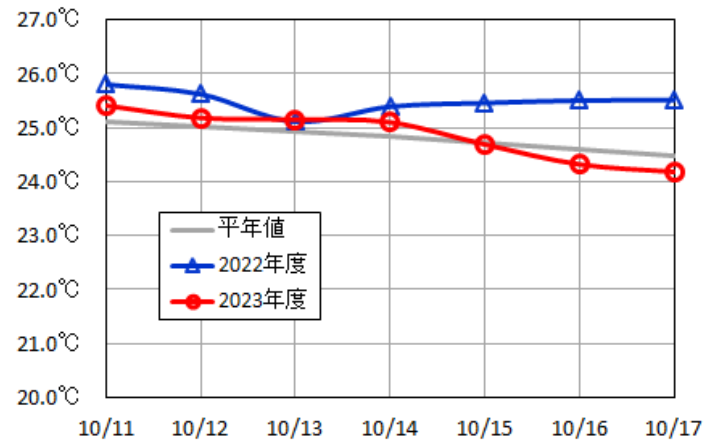
2. 地先水温(10月11日~10月17日)

鳴門地区の水温は、24.2~24.9℃で「やや高め」、浅川地区は、24.1~25.4℃で「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は0~0.6℃で、先週と比べて広がった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(10月18日~10月24日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (10月9日～10月15日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

船びき網では、シラスが57.4ト水揚げされた。

建網では、カワハギが減って大主体に0.8ト、メジナが増えて0.7ト、タカノハダイが減って0.4ト、イラが減って0.2ト、イシガキダイが減って小主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マルアジが増えて小主体に0.9ト、カンパチが大きく増えて0.6ト、ヘダイが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

底びき網では、えそ類が1.5ト、ハモが増えて中主体に1.1ト、クマエビが大きく増えて1.1ト、いとより類が大きく増えて0.7ト、かます類が大きく増えて0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カツオが2.5ト、キハダが大きく増えて2.3ト、カマスサワラが大きく増えて0.3ト、シイラが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

延縄では、あまだい類が大きく増えて0.6ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が0.9ト、ふえだい類が大きく増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	75	シラス	57,375	765		→
	建網	148	カワハギ	849	6	大主体	↘
		89	メジナ	651	7		↗
		99	タカノハダイ	384	4		↘
		87	イラ	231	3		↘
		116	イシガキダイ	207	2	小主体	↘
	小型定置網	16	マルアジ	869	54	小主体	↗
		15	カンパチ	634	42		↗↗
		17	ヘダイ	349	21		↗↗
	底びき網	19	えそ類	1,490	78		→
		20	ハモ	1,119	56	中主体	↗
		20	クマエビ	1,052	53		↗↗
		19	いとより類	696	37		↗↗
		17	かます類	424	25		↗↗
	海部沿岸	釣り	12	カツオ	2,487	207	
22			キハダ	2,348	107		↗↗
12			カマスサワラ	271	23		↗↗
9			シイラ	205	23		↗↗
延縄		3	あまだい類	573	191		↗↗
建網		51	カワハギ	209	4		↗↗
小型定置網		15	かます類	926	62		→
		11	ふえだい類	209	19		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘